

児童数増への対応は

市全体の傾向として、新年度の小学校への入学児童数の増加が見込まれているが、今後の学校再編計画の考え方は。

児童数の増加は、企業進出の影響によると考えています。浦小が29人増加しています。人口動態を見ながら現状把握に努め、計画時期が適切かどうか、地域住民の声を聞きながら、調整を図っていきます。



そのネーミングで大丈夫か

高齢化活躍推進はいいことだが、事業名称に疑問がある。「Welcome 高齢化」という言葉に不安を持つ方々への配慮は。

高齢者に対する考え方を一新したいとの思いで、この事業名としました。

高齢者アンケートでは、地域活動を行い、新たな活躍の場を希望する回答が多くありました。65歳以上の高齢者を、明るく元気な世代とし、地域を支え、地域づくりに参加していく仕組みを作りたいと考えます。結果、医療費、介護費の増大を抑制し、他の支援策への財政的な充実を図ることを目指します。

医療センターへの路線拡大は

バス路線拡大について、関係者との協議は進んでいるのか。

協議は、引き続き行っており、現在3ルートを検討しています。国道ルートでは、民間バス事業者と路線が重複していますので、バス停設置が難しいのが現状です。



海水浴場の公園化を

事業費(2767万円)の内訳は。

主に警備費、サメネット設置、清掃等管理費となります。岩屋と浦の2か所をライフセービング協会に委託し、管理費738万円としています。また、多賀の浜の管理費に550万円を計上しています。

開設期間が延び、これまで以上の利用者が見込める。海水浴場のみの開設にこだわらず、海浜公園のような利用方法も検討すべきでは。

開設期間を7/10〜8/22までに延長します。海水浴場を公園化し、オールシーズンの利用は望ましいことですが、費用対効果も考えながら検討します。

ごみ量 県内ワースト1

当市は一人当たりのごみ排出量が県内で一番多い状況とのことだが、理由を把握しているのか。

核家族化が進み、一家庭当たりの排出ごみの量が増えていることも要因の一つですが、人口に対する交流人口(観光客)が多く、事業者系のごみが増えていることも大きな要因です。



今後15%のごみ削減を目指し、さらにリサイクルの強化などにも取り組んでいきます。

教育現場も 工夫を

教育の根本は変わらないと思うが、近年のAIやロボットの実用化は進んでいる。教育現場においても指導などに工夫が必要では。

ICT機器の活用や、個別最適化された学び等を図っていきます。

ICT機器を活用し、多様なソフトを使い、友達と対話・協働しながら学ぶことは貴重な経験だ。現状、オンライン授業を実施したのが3校と聞けるが、全校で実施可能となったのか。

オンライン会議アプリのZOOMや学習ソフトのロイロノートを導入し、活用していきます。全校でオンライン授業ができる体制となりました。

総務文教常任委員会

議案10号 財産の無償譲渡(旧佐野小)

地域活性化策を成功へ 譲渡先との資金運営と 施設の整備計画協議を丁寧に

地域住民設立の「㈱さの小」に旧佐野小学校の無償譲渡を行う。国交付金を活用し、地産地消の事業を実施する。地域の農業・漁業の振興や雇用の創出、地域文化活動の充実など地域経済活性化の促進を目指す。

【主な質疑】

問 資本金が9万円となっているが、土地、建物を所有権移転すると不動産取得税等が課税される。それらの費用への措置や、譲渡先への説明はされているのか。

答 当該団体の取締役会で経費負担について、了承済みと聞いています。



地域が運営する旧佐野小

問 施設整備計画では、宿泊施設なども検討されているが、下水道や防火設備の設置費用は交付金の対象か。

答 現段階では、1階に海産物加工施設、2階に地域文化活動拠点、3階に簡易宿泊施設を計画していますが、内容を精査し、交付金活用を検討していきます。

産 業 厚 生 常 任 委 員 会

議案12号 デジタル防災行政無線整備工事の変更契約

防災無線 進捗と完了のメドは

問 文字表示付き戸別受信機が15台増える理由は。

答 対象者にニーズを聞き取った結果、当初の台数では不足するためです。

問 昨年6月に続いてダイポールアンテナが800本追加されるのはなぜか。

答 対象区域の世帯数の計上漏れがあり、今回追加します。

問 市全域の配布状況が51%、津名地域10%台と進捗が遅れている。契約工期の3月末までに完了するのか。

答 新型コロナウイルスの影響で設置も遅れており、この度の補正予算で次年度に予算を繰り越し、9月末で完了する予定です。

議案6号 介護保険条例の改正

3年ごとに見直す介護保険 第8期保険料どうなる

【主な質疑】

問 保険料は、基準階層、基準額ともに現行どおりに据え置くのか。

答 基本的には据え置きとなりますが、現在の12段階を11段階にします。第1、2段階は保険料が同じため、内容を整理し、第8期では第1段階とします。また、現行の8、9、10段階の対象者の所得判定を見直します。負担が軽減となる方が約40人と見込んでいます。

【淡路市】 第8期(R3~R5)案

基準額		69,600円 (5,800円/月)
段階	対象者の内容	保険料率
第1段階	①生活保護受給者 ②高齢福祉年金受給者で、世帯市民税非課税 ③世帯市民税非課税で、前年の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下	基準額 × 0.3
第7段階	本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が120万円以上210万円未満	基準額 × 1.35
第8段階	本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が210万円以上320万円未満	基準額 × 1.50
第9段階	本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が320万円以上600万円未満	基準額 × 1.85

第1段階は、公費投入による負担軽減を勘案しています。